令和8年度　第3学年　家庭科（評価基準）

章・単元	学習活動	学習活動における評価規準			評価資料
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
B 衣食住の生活 【食】 2 中学生に必要な栄養を満たす食事 3 さまざまな食品とその選択 4 日常食の調理 5 地域の食文化 6 献立づくり 7 持続可能な食生活	・肉の調理 ・野菜の調理 ・魚の調理 ・地域の食文化を知る ・よりよい食生活を目指す	・用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・日常の１食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	○発言内容 ○発表 ○取り組み状況 ○ノート ○ワークシート ○学習カード ○作品 ○定期考査 ○レポート
生活の課題と実践 【衣】 1 生活を豊かにするものの製作	・製作実習 （カードケース製作）	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
A 家族・家庭生活 1 幼児の生活と家族 2 幼児とのかかわり 3 家庭生活と地域のかかわり 4 持続可能な家庭生活	・幼い頃を振り返る ・乳幼児の心身の発達の特徴を理解する ・幼児の遊びと生活習慣の習得について考える ・幼児のおもちゃと遊びを考える ・幼児とのかかわり方を考え、まとめる ・子どもにとっての家族について考える ・中学生としての自立を考える ・家庭生活と地域とのかかわりを考える ・高齢者とのかかわりを考える ・幼児のおやつ作り	・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わりについて理解している。 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	・幼児との関わり方や、家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族・家庭と地域の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・幼児の食するおやつについて、幼児の生活や特徴から課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できる。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族及び家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族、幼児の生活または地域の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・幼児の生活や特徴を踏まえ、課題の解決に主体的に取り組んだり、	

				振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	・消費者としての自覚を持つ ・商品の適切な選択・購入をできるようにする ・消費者の権利と責任を理解する ・よりよい消費生活を目指す ・環境に配慮した布製品の製作	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・物資・サービスの購入及び自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入及び消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、自分や家族の消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	